



# 人材育成事業

## ながはまスマート園芸チャレンジ事業

小谷城スマートICの周辺で6次産業化を支える新たな農業を担う人材の育成を図るため、JA北びわこおよび全農しが等との連携によって、ビニールハウスを使った施設園芸の就業実習を実施しています。

2名の実習生は、それぞれのビニールハウス（7.5m×20m）で養液栽培システム「ういずOne」を使い、メロンやミニトマトの栽培技術を習得し、自立した農業経営を目指します。

### 2名の実習生がメロンとミニトマトの2期作に挑戦中！

2名の実習生が、小谷城スマートIC栽培実験農場のビニールハウスでメロンとミニトマトの2期作に挑戦しています。

実習生は、4月10日にメロンの苗を定植し、JA北びわこの職員などから栽培指導を受けながら、温度や湿度の管理を続け、7月10日に初収穫を迎えました。収穫されたメロンは、JA北びわこ農産物直売所ゆめまる館で販売されました。

「ういずOne」を使ったメロン栽培は、県内では初めての成功で、同装置を使ったメロン栽培のメリットは、収穫期におけるデリケートな節水管理が可能となります。

2作目のミニトマトも同装置を使っています。8月6日に苗を定植し、9月下旬から収穫が始まり、ゆめまる館で販売されています。



### ういずOneとは

ういずOneは、水稲育苗ハウスや遊休ハウスなどの有効活用を目的に、JA全農が開発した栽培管理が容易で、安価な養液栽培システムです。

発泡スチロール箱の栽培槽を使っているため、他の養液栽培システムと比べて設置・移動が容易です。

